

高校生フリーキック選手権 2017 東京都大会

supported by **スカサカ!**



優勝

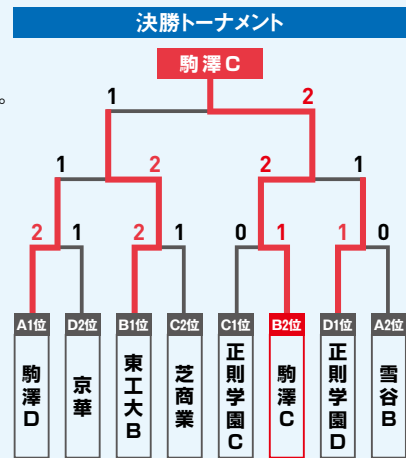
駒澤大学高等学校C

『高校生フリーキック選手権 2017 東京都大会 supported by スカサカ!』は港区、港区教育委員会、港区サッカー協会の後援イベントとなり、対象は都内の高校に通う高校生(参加無料)。今年はサッカー部を中心に19チームが参加した。



準優勝

東京工業大学附属科学技術高等学校B



東京工業大学附属科学技術高等学校A 東京工業大学附属科学技術高等学校C 芝商業高等学校 広尾学園高等学校A 正則学園高等学校A 正則学園高等学校B 正則学園高等学校C 正則学園高等学校D 高輪高等学校A 高輪高等学校B 駒澤大学高等学校A 駒澤大学高等学校B 駒澤大学高等学校D 京華高等学校 雪谷高等学校A 雪谷高等学校B 雪谷高等学校C



アンブロの新スパイクの試履会や三浦氏と東工大の生徒が地域の子どもたち50名にクリニックを実施するなど、ピッチの内外でさまざまなイベントを開催。



今年も白熱!

駒澤高校が2017東京都大会王者に輝く

11月25日、『高校生フリーキック選手権2017 東京都大会 supported by スカサカ!』が東京港区で開催された。この大会は「日本をフリーキック大国にしたい」と願う発起人の三浦淳寛氏の思いを受けて、昨年誕生したもので、今年で2回目。参加した高校生たちにとって、FKに本気で向き合った時間は、新鮮、かつ濃厚なものだった。

大会名 高校生フリーキック選手権2017 東京都大会 supported by スカサカ!
 会場 東京工業大学附属科学技術高等学校
 主催 アスマッチプロジェクト
 運営 株式会社MPandC
 賛助 デサントジャパン株式会社(umbro)、株式会社モルテン、大塚製薬株式会社、株式会社マダム、SKLZ、東京スポーツ・レクリエーション専門学校、東京リゾート&スポーツ専門学校、株式会社エクセリ、株式会社ソディック、政府登録ホテル 白川郷
 協力 東京工業大学附属科学技術高等学校、港区、港区教育委員会、港区サッカー協会
 後援 港区、港区教育委員会、港区サッカー協会
 メディア スカサカ! サッカーダイジェスト

「日本をフリーキック大国にしたい」という三浦淳寛氏の熱い思いを乗せた「高校生フリーキック選手権2017 東京都大会 supported by スカサカ!」が、港区の東京工業大学附属科学技術高等学校のグラウンドにて行なわれた。ルールはいったってシンプルで、簡単に言ってしまうとPK合戦のFK版。特徴的なのは決められたポイントであればどこにボールを置いても構わないという点だ。5人が蹴って勝負つかない場合はサドンデスへ。逆の守備側は、4名の壁と1人GKを選出。15秒以内に壁をセットし、あとはゴールを守るだけというもの。大会には19チーム、約120名が参加し、熱戦が繰り広げられた。

開会式で三浦氏は「やるからには優勝目指してやってほしい。本気でやると悔しいはず。もし負けるときは、本気で悔しがってください。それが成長につながる」と選手たちに檄を飛ばし、大会は幕を開けた。序盤はゴールの上へ大きく外してしまう選手が多く見受けられたが、優勝目指してやってほしい。本気でやると悔しいはず。もし負けるときは、本気で悔しがってください。それが成長につながる」と選手たちに檄を飛ばし、大会は幕を開けた。

予選4グループのそれぞれ上位2チームが決勝トーナメントに進出。決勝戦では2本のFKを成功させた「駒澤C」が「東工大B」を下し、2017 東京都大会優勝の栄冠を手にした。決勝戦の主審を務めた元国際審判員の西村雄一氏は、閉会式で「日本代表になって、ここでFKを決めたから今があるんです」というコメントを待っています。ぜひ頑張ってください!と選手たちの将来に期待を込め、大会を締めくくった。

来年度も関東エリアを中心にフリーキック選手権を実施していく予定。「日本にはフリーキッカーがいらないんじゃない、やっけないだけ。この大会が練習をするきっかけになってほしい」と語った三浦氏。「フリーキック大国」を目指すプロジェクトから今後とも目が離せない。

NEWSスポーツ! ヘディス(HEADIS)を体験

ヘディス (HEADIS) とは、ドイツ発祥の新スポーツ。卓球台をはさみ、専用ボールをヘディングのみで打ち合う、いわば『ヘディング卓球』だ。今回のフリーキック選手権の会場では、同競技の普及活動のサポートをしている東京スポーツ・レクリエーション専門学校の協力の下、体験会が行なわれた。こちらの試合も白熱していた!

今年は全国大会も行なわれたヘディス。ヘディングに自信がある人は要チェック!

<http://headis.jp/>

次回開催に向けて。

アスマッチプロジェクト アスマッチプロジェクト代表 森下尚紀氏

アスリートと地域(まち)をつなげ、スポーツの力で地域を元気にする『アスマッチプロジェクト』をぜひ、応援してください。アスリートが真剣勝負をするスポーツは、人々に多くの喜びや感動を与えることができます。

スポーツは勝っても負けても、真剣に挑むアスリートから勇気もらえることができます。アスリートによる本物体験は子どもたちに夢を与えます。いま地域が必要としているのは、アスリートです。『アスマッチプロジェクト』で、地域を元気にし、日本の明るい未来を創造していきましょう。

大会アンパサダー 元サッカー日本代表 三浦淳寛氏

成功率No.1のフリーキック大国を目指すべく「日本をフリーキック大国にする」という目標に向けて活動しています。今回のフリーキック選手権は、皆さんのフリーキックに対する意識を高めてもらうことが目的です。

ひとりの選手だけがフリーキックを蹴るのではなく、多くの選手がフリーキックを蹴られるようになってください。そしてたくさん分析して、何でも何度もフリーキックを粘り強く練習してください。日本サッカーの未来は、あなたのフリーキックにかかっています。

大会アンパサダー 元国際審判員 西村雄一氏

2010・2014FIFAワールドカップで世界レベルのサッカーを体験できました。日本代表は毎年強くなっていますが、他の国の強化も進んでいます。とくに日本に進化が求められるプレーがあります。それがフリーキックです。そんな状況を分かっている三浦氏が今回のフリーキック選手権を企画したことを聞き、応援しに来ました。この大会に参加する皆さんは、攻撃側として蹴るだけでなく、壁をつくる守備側の面でもいろいろ考えて挑戦してみてください。楽しみにしています。